「防災時の対応と安全確保」（セーフティー教室）

～防災実習「手ぬぐいを使用した止血方法！～

安全指導　社会　総合　キャリア

- 実施日　令和３年９月１日（水）
- 実施校　墨田区立吾嬬立花中学校　１～３年生（４６１名）
- 講　師　防衛省自衛隊　江東出張所の皆さん
- 内　容　オンライン方式にて実施
  - 東日本大震災や阪神淡路大震災時の自衛隊の救助活動について学ぶ。
  - 適切な避難の方法について
  - 日頃の防災意識や対応及び災害時に必要なこと
  - その他、救助活動を行って気づいたこと

■生徒の感想

- 私は防災講話を聞いてすごく怖いなと思いました。約７０％の確率で地震が来ることや災害時の写真を見て、しっかり家族と話し合おうと思いました。止血方法も私は絶対に冷静になれないなと思いました。けれど、止血方法を詳しく説明してもらえてよかったと思いました。
- 自衛隊の方々の話を聞いて、自衛隊の方がどんな仕事をしていて、どんな時に僕たちを助けてくれるのかがよく分かりました。災害時に助けてくれるのが家族や隣人の人が多く、共助というのを大切しようと思いました。人が助かるタイムリミットが７２時間と聞き、もうダメだと思ってもあきらめずに努力すれば生きることが出来ると思いました。
- 実際に自衛隊の方からたくさんのお話が聞けて嬉しかったです。過去に起きた大地震の時などのことや自衛隊の方々が実践してきたことを知ることができ、とてもためになることばかりでした。止血方法など詳しく教えてくれたので、もし、今後大きな災害が起きた時、学んだことを実際に生かしたい。
- 今回は災害時にはどのように行動すればよいのか教えてくださりありがとうございました。まず、自分の身は自分で守る。人に助けてもらうのも良いけれど一人で行動できるようなりたいです。

★制作資料提供　防衛省自衛隊　江東出張所　　墨田区立吾嬬立花中学校